

重原限定こんな人集まれ！

第1回 企画

**55 歳を超えて、この重原地区に
話し相手を作りたい人 集まれ！**

日時： 2026 1/24(土)13:30～(1 時間半)

場所： 重原市民館

対象： 重原の住人ならどなたでも 事前申込み不要

料金： 無料 飲み物・お菓子付き

あのさあ！この年になって友達作るのって敷居が高いし
「めんどくさい」……

そう！ 会った時だけの話し相手作りましょ！！



1 つ言うなら 自分の好き(特技)を教えてくださいね

例えば、日曜大工、手芸、スポーツ全般、バーベキュー、
子供と遊ぶ、野菜作り、自転車、ペット、パソコン、花を
育てる、写真、大河ドラマ好き、料理、お寺好き、食べ歩
き、ダジャレ、けん玉、マラソン、食べ放題好き……

質問等は、重原地区長 鈴木勉 090-1728-1693



どんなところ

しげはら
重原

って？



子どもさんや 他から来られた方に知ってほしい！
もちろん 昔から住んでみえる方にも、話題にしていいただいたら
嬉しいです。ぜひ「重原ホームページ」でゆっくり読んでください。



第9回 「 重原の中条遺跡 」

じいじ：重原に中条という地名があるんだ

まご：なかじょう？

じいじ：中条は、1万年前から人が住んでいて、
何度も栄えた場所だったそう

まご：いちまんねん？どれくらいまえ？

じいじ：縄文時代といって、じいじのお父さんの
お父さんのお父さんの.....400人位さか
のぼるほど昔だよ

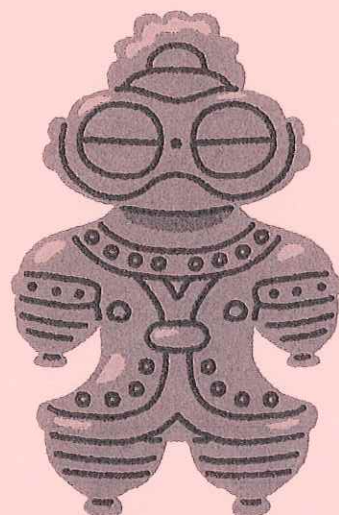
まご：へー？なんですんでたってわかるの？

じいじ：魚の骨や貝殻が、土の中から出てきて
それが住んでた証だよ

まご：なんで、さかえていたってわかるの？

じいじ：土偶や高級な茶碗が出てきて多くの人が
集まって暮らしていたことが分かるそう
だ

まご：すごいね なかじょう！



みんな 地元が好き 私は重原が大好き

重原歴史を学ぶ会（鈴木 勉 文）

回覧

1月 重原【行事・活動】カレンダー



地区長 鈴木勉

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 元旦	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 保健推進員体操 防犯パトロール会議	12 成人の日	13 刈谷市防災講演会	14	15 重原サロン	16	17 地区委員会
18	19	20	21	22	23 純烈コンサート	24 重原限定こんな人集まれ 13:30重原市民館 飲み物, お菓子付き
25	26	27	28	29	30	31
		メモ	防災の話 大災害後の復興が大切<避難所運営が大切<災害直後の人命救助が大切< 事前防災意識と準備が大切<日頃の地区のコミュニケーションが大切< 向こう三軒両隣のお付き合いが大切			

「重原歴史を学ぶ会」が、本を出します。題名『重原を紡ぐ』副題〈中条遺跡から未来の子ども達へ〉 ☺みなさん応援してください☺



刈谷南中学校新聞

第435号 令和7年12月 3日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話0566-21-0025

心温まる「伝統」～朝のボランティア～

校長 葉山 靖彦

11月も下旬となり、朝の学校のグリーンベルトはケヤキの葉でいっぱいになります。紅葉を感じる素敵な季節ではありますが、落ち葉の掃除も大変です。

本年度も、自発的にボランティア活動に参加する生徒が落ち葉を一生懸命に集めてくれます。落ち葉の様子を見て、一日一日、参加する生徒が増えているのも心強く感じています。『状況を見て、必要だと思うときには行動に移せる』・・・ボランティアに限らず、どんな場面でも大切にしたい姿勢です。今年は、1年生も続々と参加している



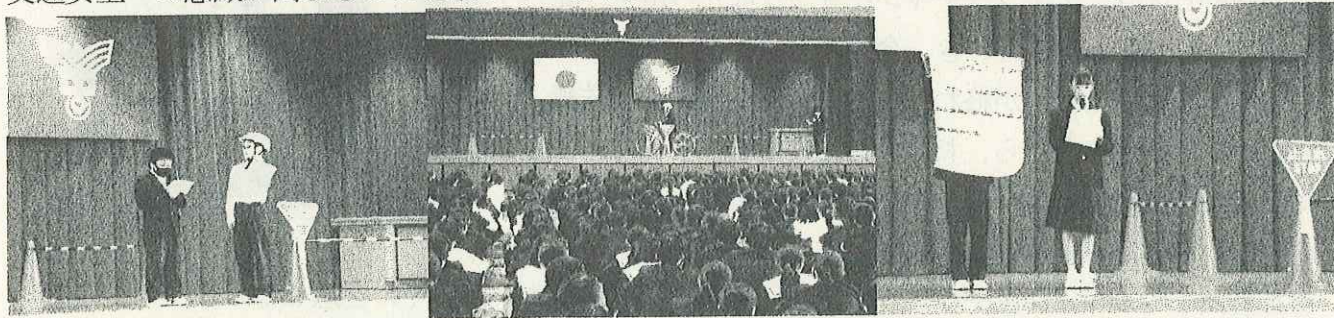
のが特長です。先輩たちの思いが1年生にもしっかり伝わってきていることを感じます。また、ボランティアに参加している人の挨拶や笑顔が際立って見えるのは、やはり善行をしているからこそ滲み出てくる元気や明るさ、自信なのでしょう。ボランティアだけでなく、自分の生活している一つ一つのことに意味と意義を見つけて、力強く自分の生活を創り出してほしいと願います。

刈南中が大切にしている言葉の一つに『相手満足』という言葉があります。これは、「自分が良いと思うだけでなく、相手（から見て）も十分に満足してもらえる行動を取る」ということです。朝少しの早起きと10分ほどの掃除で、たくさんの人が幸せな気持ちになります。「相手（周りの人）」が喜んでくれることを進んでできる南中生。先輩から伝えられる「心温まる伝統の心」だと思います。

その心も「シンカ」していくこれからの刈南中は、どんな学校になっていくのでしょうか。

交通安全教室を受けて

刈谷南中学校は、交通量の多い地区のため、一般の方の通行や小学生の登下校との重なりがある場合を想定し、「スクランブル交差点では自転車を降りて通行する」といった自転車の登下校でのルールを学校独自で創っています。中学生の自転車での事故は件数も多く、大きなケガに繋がりがかねないものです。交通安全について、これまで何度も考える機会をつくってきました。今回は、刈谷警察署の方から1年生が交通安全教室で学んだことを生徒集会で他学年の生徒へ伝達しました。一人一人の交通安全への意識が高まることを願っています。



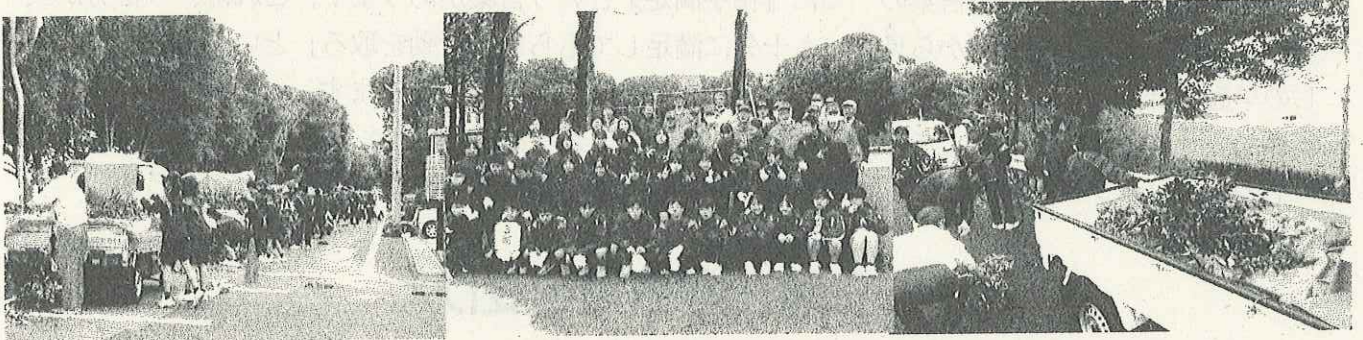
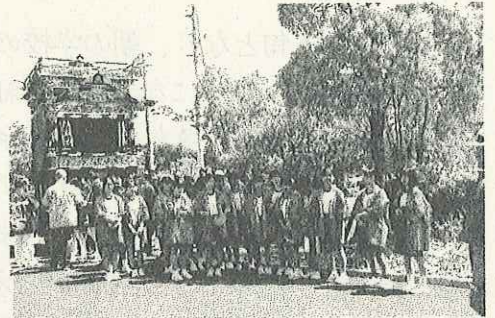
地域に支えられ、地域で活躍する中学生

全国的にさまざまな「地域学校協働活動」が展開されていますが、刈谷市として、中学校では、地域からの要請を受けて、中学生が地域貢献活動としてボランティアに参加しています。以下に、今年度、実施したボランティアを紹介します。中でも、下り松川間引き作業ボランティアは、大勢の参加があり、地区の方と力を合わせて、地区の河川美化のためにがんばっています。

令和7年度ボランティア参加者まとめ

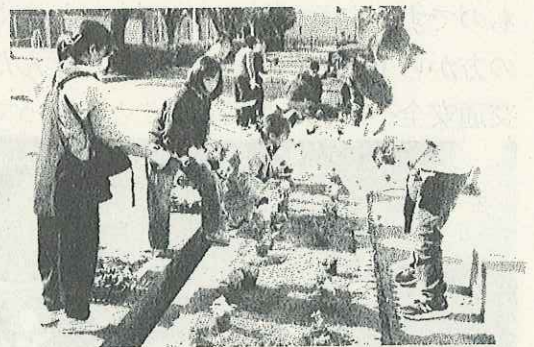
11.30現在

日にち	内容	参加人数
5月5日	刈谷春祭・山車祭り	20
5月18日	ソフトバレー大会	7
6月8日	ニュースポーツ大会	14
6月29日	カナダ・ミササガフェア	12
7月24日・25日	車イスラグビー大会	6
9月14日	チャレンジランキング大会	46
10月26日	レクレーション大会	24
11月1日	下り松川間引き作業	195
11月30日	避難所開設訓練	63
12月21日	大餅つき大会	10
12月21日	特別芸能発表会	7



P T A花壇の苗植えボランティア

P T A活動の一つである花壇の苗植えが、厚生委員の呼びかけで集まった参加者で行われました。色とりどりのパンジーやビオラ、デージーやキンギョソウなどの苗を、配置を工夫しながら植えていき、今年度も素敵な花壇が出来上がりました。苗植えが終わった後は、給食試食会で栄養教諭から話を聞きながら、おいしく給食を食べました。生徒が給食を食べている様子を参観する時間もあり、家庭で給食の話題に会話がはずむ様子が想像されました。また、参加者同士で一緒に活動や体験をするなかで、繋がりが生まれていくのを感じました。





子どもたちのチャレンジは続きます

クラス、学年で一つにまとまり、みんなで創り上げてきた学習発表会が、4年生以外終わりました。音楽、国語、社会等の学習の成果を、それぞれの学年カラーを大切に、発表としてまとめたものを披露しました。「大きく口を開けよう」「心を込めて伝えよう」「伝説を残そう」それぞれの学年で目標を決め、ここまで真剣に取り組んだ発表は、どの学年も見事なものとなりました。歌が苦手、人前でしゃべるのが苦手、そんな子もたくさんいます。けれどもその子たちもチャレンジの気持ちを大切に、自分の殻を破ってくれました。一生懸命に届けようとする姿に、心が震えました。まさしく、全校児童が取り組んだ「真チャレンジ」。保護者の皆様には、子どもたちのそんな姿を心熱くしながらご覧いただき、ありがとうございました。そして、まだ時期は未定ですが、4年生がこの学習発表会の大トリを務めてくれる姿を楽しみにしています。4年生の保護者の皆様、お仕事等で調整が難しい中、子どもを守るための発表会延期という苦渋の決断にご理解くださり、ありがとうございました。

2学期も残すところあと1か月。2学期としても、12月の年末としてもよいまとめができるよう、さらに自分を高められるチャレンジを続けてほしいと願います。保護者の皆様には、学習発表会を含めて子どものがんばりを見取り、温かな声をかけていただければと思います。最後になりましたが、インフルエンザ等の感染症も流行っています。ご家庭でも感染症対策に十分取り組んでいただくこともお願いして、巻頭の挨拶とします。

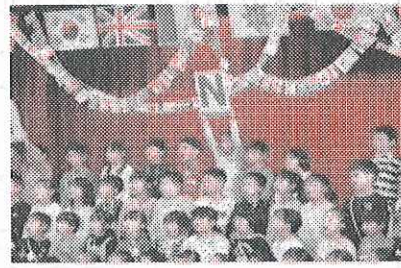
11月20日（木）学習発表会での子どもたち



3年生「ひびけ歌声 輝けぼくらのチカラ」



1年生「手ぶくろ」



2年生「ようこそ！住吉音楽万博へ」



5年生「伝説を残せ～5年生3つのプロジェクト～」



6年生「一つの花」①



6年生「一つの花」②

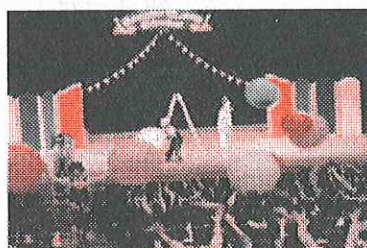
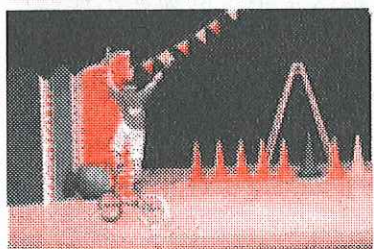
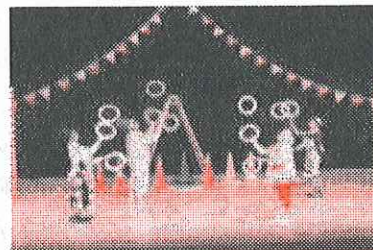
刈谷市小中学校音楽会

11月1日（土）



11月1日（土）の午後、刈谷市小中学校音楽会が開かれ、本校の3年生が住吉小学校を代表して出演しました。「ハッピーソング」「ぼくらのチカラ」の2曲を、3年生とは思えないほどのよく響く美しい歌声で歌い上げました。元気と希望、そして歌う喜び、聴いてもらえる喜びを全身で表現することができました。

「コメディ・クラウン・サーカス」鑑賞 11月5日（水）

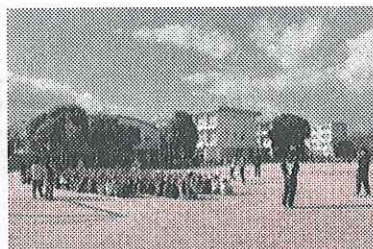


11月5日の午後、総合文化センター大ホールで「コメディ・クラウン・サーカス」を鑑賞しました。5名のクラウンによる「ピン渡し」「皿回し」などのパフォーマンスを、1時間ほどゆったりと楽しみました。

鑑賞後の子どもたちは、「自転車の上に立ってバランスをとるのがすごかった」「客席に飛んできた大きな風船を跳ね返すのが楽しかった」と、笑顔で感想を語っていました。

児童会「玉入れ大会」

11月10日（月）



全校約800名が学年縦割りの「はる」「なつ」「あき」「ふゆ」の4チームに分かれ、玉入れを楽しみました。自分たちが玉を投げるときも応援するときも、大いに盛り上がりました。

令和7年度重原地区運動会会計報告

回覧

収入の部

(単位:円)

項 目	金額	内訳金額	内 訳
その他収入	69,055	-	雨天中止による景品売却代
備品補助金	116,400		音響システム一式、ケーブル追加購入
合 計	185,455		

支出の部

(単位:円)

項 目	金額	内訳金額	内 訳
報償費	173,541	110,449	競技、抽選会用景品、来賓お礼、子供用景品各種
		45,500	競技用景品(刈谷ギフトセンター一括分)
		17,592	軽トラ、テント、駐車場借用お礼
消耗品費	29,898	14,718	紙コップ、ロープ、デコパネ、コイル他
		15,180	運動会道具買取り(スポーツマネージメント分)
原材料費	1,754	—	石灰
食料費	51,018	—	出場者、来場者飲み物 役員弁当他
印刷製本費	880	—	拡大コピー等
備品購入費	166,140	—	音響システム一式 ケーブル追加
合 計	423,231	—	

運動会の会計報告については、上記のとおりです。

不足分237,776円は公民館本会計より支払いをしました。

本年は、残念ながら
 雨天のため中止になり
 ました。お菓子等
 景品については、文化展に
 まわしました。

令和7年12月吉日

重原公民館長 尾島 輝雄

090-9941-3946

中部地区社協NEWS

令和7年12月発行
第14号

演題：『～ピンピンキラリのシニアライフ～
「幸福寿命を延ばすため」
一終活、次への備え～』

講師：福祉法務事務所 和音
行政書士・社会福祉士 鈴木貴文氏

日時：令和8年1月24日（土）10：00～11：30

場所：中央生涯学習センター 401・402研修室
（刈谷市若松町2丁目104番地
刈谷市総合文化センター「アイリス」内）

対象：どなたでも 定員100名（先着順）

エンディングノートや相続、遺言、
成年後見制度など…
将来の備えについて学びませんか？



【申し込み方法】

令和7年12月26日（金）までに、
電話、メールまたは申込ページ（右下のコード読取）より、
①氏名、②電話番号、③メールアドレス
をお知らせください。

【申込・問合せ先】

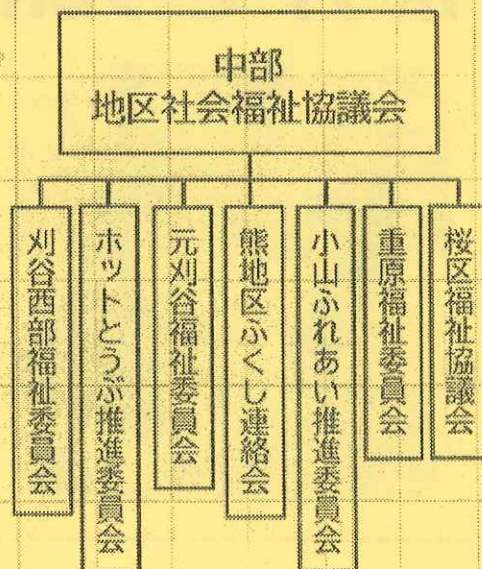
中部地区社会福祉協議会事務局
（刈谷市社会福祉協議会生活支援課内）
電話：0566-23-1600 携帯：070-2232-7425
（平日午前9時～午後5時）
メール：seikatsu@kariyashi.jp

申込はこちら↓



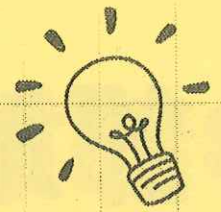
中部地区社会福祉協議会とは？

現在、7つの福祉委員会で中部地区社協が構成されています。
中部地区をより暮らしやすい地域にするために、活動状況や課題の共有をしたり、地域住民同士での話し合いを支援したりするための組織です。





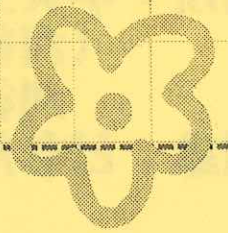
福祉委員会とは



「誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくること」を目的とした住民組織です。地域の現状や課題について情報共有しながら、その解決のために取り組んでいます。

【どんな人が活動しているの?】

自治会、公民館、民生委員・児童委員、いきいきクラブ、女性の会、子ども会、自主防災会、ボランティア団体 など
地域で活動している方々が構成員となっています。



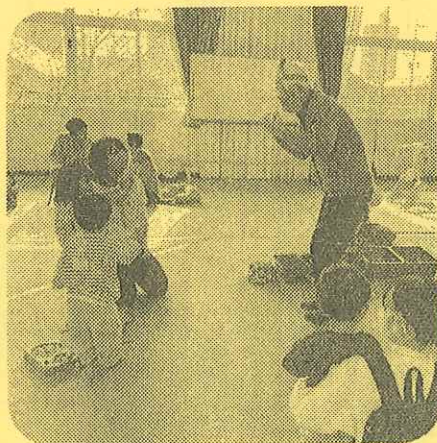
刈谷西部福祉委員会



自治会、公民館と協力して実行委員会を組織して「お宝さがしウォーキング」を開催しています。楽しく自分たちのふるさとや防災について学べるイベントです。西部地区に限らず、他地区からも参加してくれる賑やかなイベントです。

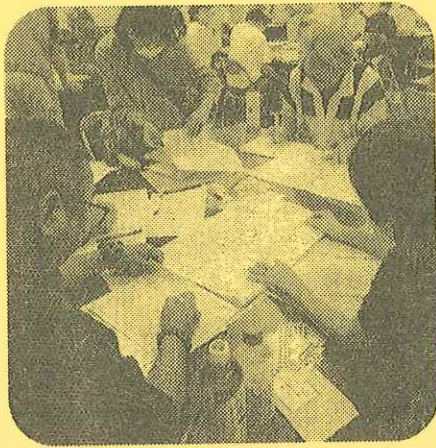
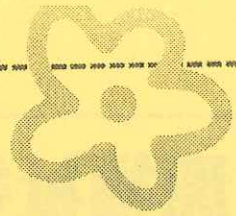
また、組長と班長で避難行動要支援者を訪問し顔合わせを行っております。

ホットとうぶ推進委員会



毎月第4火曜日の10時から、刈谷東部市民館で子育て世代を対象とした「交流サロンホットとうぶ」を開催しています。いきいきクラブ会員にも参加してもらって、子どもたちに向けて紙芝居の読み聞かせを担当していただいています。多世代交流もできる、のんびりゆったりできる空間です。年に1回、休日開催もしています。今年度は小学生向けのクイズ大会も実施し、楽しく地域について学ぶことができました。

元刈谷福祉委員会

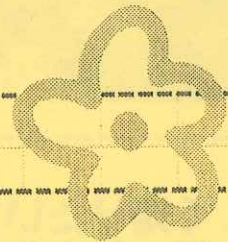


「互近助の元刈谷」を合言葉に活動しています。いざという時の避難行動に特に支援が必要な方と組長、班長等が個別面談を行っています。面談時にはゴミ袋を手渡ししています。災害発生時には近所同士がお互いに助け合う地区になることを目指しています。設立して5年目をむかえ、この活動が地区内に徐々に浸透してきています。今まで以上に安全で住み良いまちづくりに取り組みます。

熊地区ふくし連絡会



地区内の各団体の課題解決や地区行事のより一層の充実のため、会議を開催しています。毎年、文化展でふくし連絡会PRブースを設けたり、「目くばり・気くばり・声かけ運動」を推進したりしています。また、「つながりのある地域づくりに役立つ講演会」を今年度も1月に開催します。テーマは「フレイル予防」で、体操やグループミーティングも交えた講演会を実施予定です。



小山ふれあい推進委員会



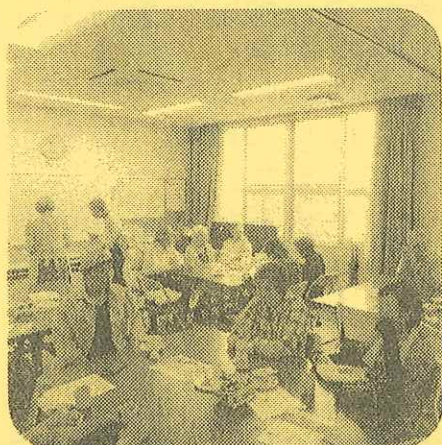
毎年秋に公民館主催で開催している歩け歩け大会で、ふれあいブースを開設しています。子どもから大人まで幅広い世代の方が楽しめるブースになるよう工夫を凝らしています。中学生ボランティアも協力してくれています。さわやかな空気を吸いながら多世代の交流ができる楽しいイベントです。

重原福祉委員会



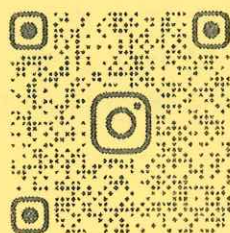
「認知症っぽい？方を地域で支える講演会」を開催しました。講師は刈谷中部地域包括支援センター様とオレンジパラソル様。寸劇を交えた受講者参加型の講演会で楽しく学ぶことができました！また、毎年、災害時避難行動要支援者との顔合わせを実施しております。12月には「重原子ども達が地域とつながる大餅つき大会」にてポッチャ体験ブースを運営し、同時に福祉委員会の活動紹介を行いました。

桜区福祉協議会



桜区民生委員・児童委員が中心となって運営している「さくらカフェ」（毎月第1水曜日）の運営に協力しています。また、桜区福祉協議会主催で「いきいき百歳体操」（毎月第3木曜日）の運営をしています。どちらも毎回たくさんの方にご参加いただき、地域の集いの場になっています。ボランティア部では、昨年度も多くの活動に参加しました。ボランティア部内の横のつながりを作るため、交流会も開催しています。

詳しく知りたい方は下記までご連絡ください
 ※土日祝、年末年始を除く午前9時から午後5時
 中部地区社会福祉協議会 事務局（刈谷市社会福祉協議会生活支援課）
 電話 070-2232-7425 FAX 0566-25-2498
 MAIL seikatsu@kariyashi.jp 住所 刈谷市下重原町3-120



KARIYASHICHIKUSYAKYO

Instagramやってます！
 地区社協や福祉委員会の活動
 を紹介していますので、
 ぜひチェックしてください！



事務局です(๑ˊˋˊ)



重原地区サロン

今年も早いもので残り少なくなってきました。
重原サロンで笑って楽しんで、2025年を締めくくりましょう。
高齢者の方々の集まりなので、感染予防対策をしながら開催します。
風邪症状がある等いつもと違うと感じる場合は
ご無理をなさらず、参加をお控えください。

日時：令和 7年 12月 18日（木）

13：30～15：00（出入り自由）

場所：重原公民館2階 ホール

予約不要・参加費無料



<12/18の主な内容>

12月はクリスマス会をします。クリスマスの歌を歌ったり、ゲームをして、楽しく過ごしましょう！ぜひ、来てください！お待ちしております！



★次回は令和8年1月15日(木)13:30～15:00の開催です

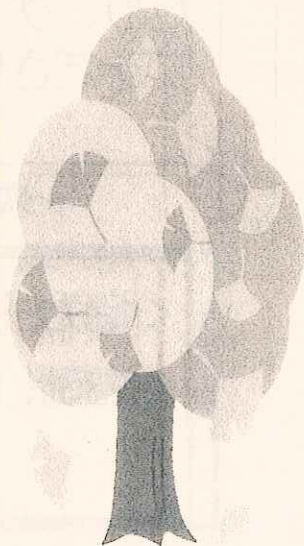
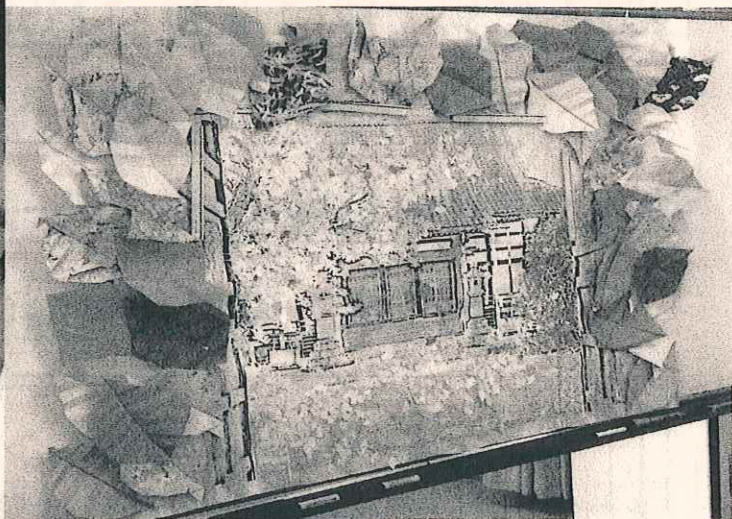
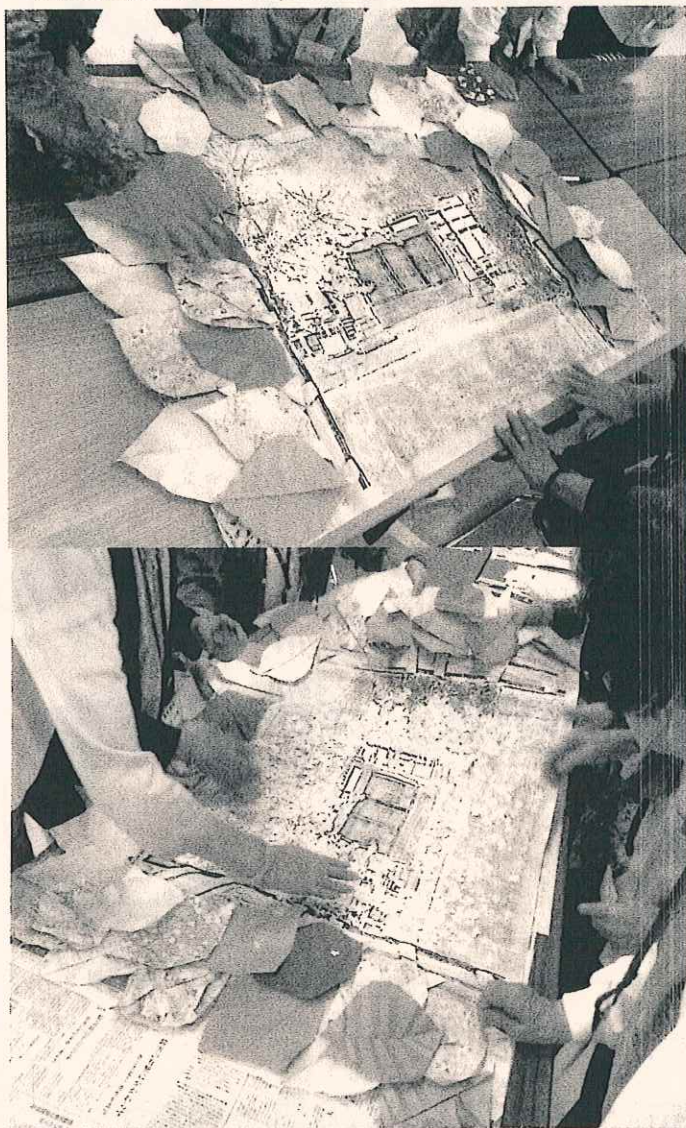
<協力・協賛>重原巴会・重原公民館

<お問い合わせ先>刈谷中部地域包括支援センター

0566-25-8283 担当：樋口

10月のサロンのご報告

10月の重原サロンは、浄福寺の大銀杏の壁面を作成しました。みんなで協力して、ワイワイ楽しく出来ました。重原の文化展に出品する予定です。皆さん、ぜひ見に来てください！！



刈谷中部地域包括支援センターだより



第173号 2025年12月1日発行
刈谷中部地域包括支援センター

初冬を迎え、吐く息も白い向寒の候。温かいお茶や鍋が恋しい季節です。年の瀬まで忙しい日々ですが、体調には十分お気をつけください。

筋力向上トレーニングに参加してみませんか？

筋力向上トレーニング事業とは身体機能が低下している高齢者に対して、運動機器等を用いたトレーニングを行い、運動機能の向上・介護予防を図ることを目的とした事業です。

第3クール（令和8年1月～3月）分の申し込みが始まります。

《対象者》・基本チェックリスト（刈谷市指定様式）にて事業対象者に該当する方

＊下記□の項目で3つ以上当てはまる方

□階段を手すりや壁をつたわらないと上れない

□椅子に座った状態からは何かにつかまらなないと立ち上がれない

□15分くらい続けて歩くことが難しい

□この1年間に転んだことがある

□転倒に対する不安が大きい

・要支援認定（要支援1～2）を受けていて、通所サービス（デイサービス等）を利用していない方

＊要介護1～5の認定を受けている方は対象外

《内 容》・1回約1時間半 週2回（3ヶ月間 22回）

・利用料金は3ヶ月で4,400円（保険料含む）

・送迎は利用する事業所が実施

・ストレッチ、トレーニングマシンやボール、ロープを使った筋力トレーニング等

《参加を希望される方へ》

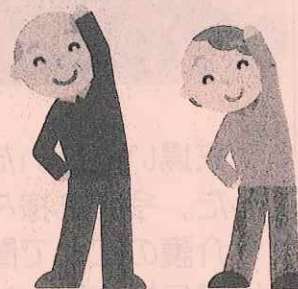
参加には事前に申し込み手続きが必要です。

申し込み締め切りは12月中旬です。

申し込み多数の場合は新規で参加希望の方が優先となります。

詳しくは、刈谷中部地域包括支援センターまでお問い合わせください。

（電話：25-8283）



年末年始の休業日：12月27日（土）～1月4日（日）

上記の期間、お休みさせていただきます。何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

11月11日は「介護の日」 イベント開催しました！

昨年に引き続き、「介護の日」啓発イベントをイズモ葬祭～刈谷貴賓館～の会場をお借りして行いました。今年度は11月7日（金曜日）でのイベント開催でしたが、当日は地域の住民の方や介護事業所の方など、37名の方が参加してくださいました。

■講演会「高齢者の在宅介護に関する制度について」

「ちょこっとささえあい事業について」

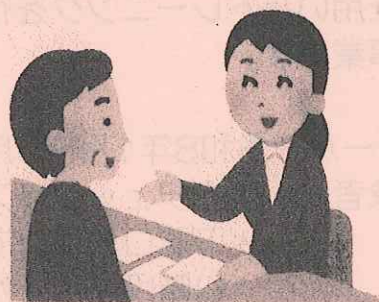


■高齢者向け食品の試食

■福祉用具の展示・使用方法説明

■高齢者のお困りごと相談会と体力測定

■介護予防教室



ブースを分けて開催をしました。

～ 会場の様子 ～



来場いただいた方はいろいろなブースをまわり、熱心に話を聞いてみえました。今後も様々なイベントを企画していきたいと思っています。

介護のことで聞いてみたい、見てみたい、気になることがあれば刈谷中部地域包括支援センターまでご相談ください。

高齢者のみなさんが地域で安心して生活が続けられるよう支援するための相談窓口です。ご都合にあわせて、電話や訪問など無料で相談いただけます。まずはお電話ください。

営業日：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 8：30～16：45

刈谷中部地域包括支援センター

TEL25-8283



刈谷中部地域包括支援センターだより



第174号 2026年1月1日発行
刈谷中部地域包括支援センター

2026年の始まりです。午年は成功や力強く前に進む年と言われています。皆様にとって前進の年になりますようご祈念いたします。今年もよろしくお願いいたします。

歳を重ねるって、ほんとうはすてきなこと

心が深まる「老年的超越」のおはなし

「歳をとるのはちょっとこわい」「できないことが増え辛い」そんな声を聞くことがあります。

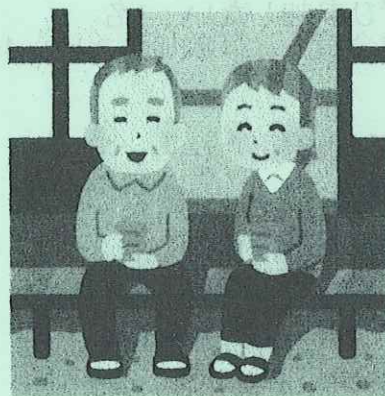
でも、歳を重ねることは、心が豊かになるチャンスでもあるんです。

老年的超越って？

スウェーデンの学者ラース・トルンスタムさんは、高齢期に起こる心の変化を「老年的超越」（ろうねんてきちょうえつ）と呼びました。

それは、こんなふうな変化です：

- 昔ほど細かいことにこだわらなくなる
- 自然や命の不思議さに心が動く
- 一人の時間が心地よく感じられる
- 人とのつながりを、より大切に思える



つまり、人生を広く深く見つめる力が育っていくということ。

若いころは、忙しさや責任に追われて、見えなかったものが、歳を重ねることで、少しずつ見えてくるようになります。

夕焼けの美しさに涙が出たり、昔の思い出をやさしく振り返ったり。それは、心が成熟している証かもしれません。

忘れることが多くなったり、体力の低下を感じたりすることも精神的な成長のきっかけと見直すと「歳をとるのも悪くないな」と前向きにとらえることができます。

男性ならではの介護の悩みや日常の工夫を語り合う

11月12日（水）社会教育センターにて「男性介護者座談会」を開催しました。参加者は4名、体験発表者2名でした。少人数ながらも、介護に関する悩みや日々の工夫を語り合う、温かく実りある時間となりました。

参加動機（複数回答）

- 介護に関する情報を得たかった：3名
- 同じ立場の人と話したかった：2名
- 主催団体に興味があった：1名
- その他：2名

座談会の満足度

- とても満足：1名
- 満足：4名
- 普通：1名

印象に残った話題

- 料理や食事に関する工夫
- 多様な介護の形に触れ、自分だけではないと実感
- 掃除・洗濯・排泄介助など日常生活の工夫

今後の参加意向

- ぜひ参加したい：1名
- 機会があれば参加したい：4名

希望する開催頻度

- 月1回：2名
- 2～3ヶ月に1回：3名
- 半年に1回：1名

参加者の声（一部抜粋）

- 「話はとても役に立った」
- 「自分自身も開催してみたい」
- 「市民の生活に少しでも役立ちたい思いがある」

今後も、男性介護者が気軽に集い、情報交換や心の整理ができる場を継続していきたいと考えています。ご興味のある方は、ぜひ地域包括支援センターまでお問い合わせください。

刈谷市の男性介護者は増加傾向
推計で35%

60～70歳台で介護が始まることが多く
家事と介護を一緒に始めなければなら
ない傾向があります。悩みを抱え込み
やすく介護疲れに陥りやすいです。
ご自分の介護について語り共感を得る
ことができる場となりました。



お茶を飲みながら和やかな会となりました

高齢者のみなさんが地域で安心して生活が続けられるよう支援するための相談窓口です。ご都合にあわせて、電話や訪問など無料で相談いただけます。

まずはお電話ください。

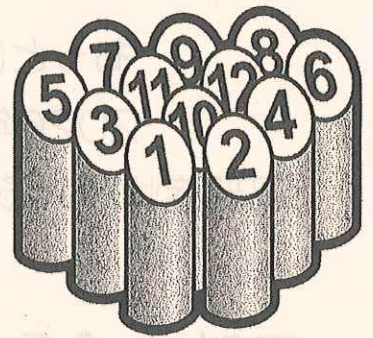
営業日：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 8：30～16：45

刈谷中部地域包括支援センター

Tel25-8283

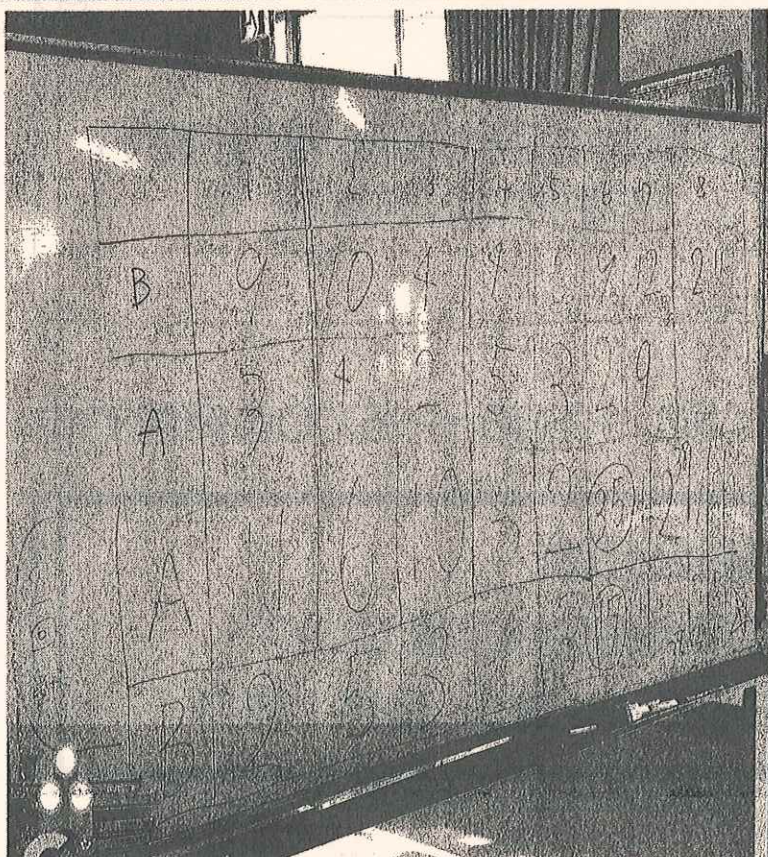


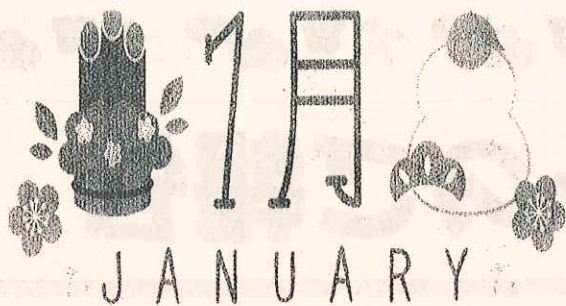
11月のサロンのご報告



11月の重原サロンでは、モルックを行いました。重原サロンに来ていただいている、皆さんはゲームがお好きなので、とても盛り上がっていました。

今回使用した、モルックは地域の方の協力で、1本の木を加工し作ってもらいました。





重原地区サロン

あっという間に1年が終わり、新しい年の始まりですね。

2026年最初のサロンです。ぜひ遊びに来てください！！

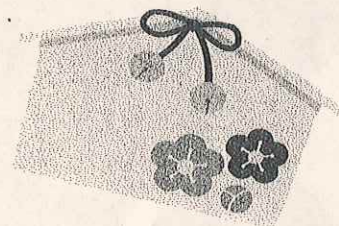
風邪症状がある等、いつもと違うと感じる場合は参加をお控えください。

日時：令和8年 1月 15日（木）

13：30～15：00（出入り自由）

場所：重原公民館2階 ホール

予約不要・参加費無料



＜1/15の主な内容＞

絵馬を作って、2026年の抱負や願い事を書いてみましょう！ぜひ来てくださいね(^▽^)/

★次回は令和8年2月19日（木）13:30～15:00の開催です

＜協力・協賛＞重原巴会・重原公民館

＜お問い合わせ先＞刈谷中部地域包括支援センター

0566-25-8283 担当：樋口



刈谷駅前 パトロール

回 覧

刈谷警察署
地域課発行
0566
22-0110

盗撮・痴漢は、犯罪！！

盗撮してる

あなたの姿も

写ってますよ



みんなの協力
みんなの勇気と声で

痴漢撲滅！

見つけたら
110番



刈谷駅前交番犯罪認知状況

令和7年10月の刑法犯認知件数
『10件』（前年14件）

※件数は刈谷警察署独自の手集計であり、公表値とは異なる場合があります。

主な犯罪認知件数

- 器物損壊 1件
- 自転車盗 5件

自転車に鍵を
かけましょう！

